

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
Yくまーず未来Kazaoka津島		2024年 11月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用者が多い時、子供の状況、小グループ制や個別での活動など必要に応じてスペースを分け、出来る限り子ども達が落ち着いて取り組めるように配慮しております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	指定基準は満たしております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	空間は、コーナー分けをし、ホワイトボードやイラスト・写真を使用してスケジュールを確認できるようにしております。階段では、スタッフが付き添い安全確認をし、対応しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	毎日清掃消毒を行い、安全確認や環境設定を行っております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		HPIに公開しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		内部監査をし、自主点検が行えるようにしています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			広く研修参加できるよう機会を設けます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		子ども達好きなことやニーズなどを考慮しながら各指導員が連携して立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		個別、小グループ、障がい特性など考慮し、季節に合わせたイベントなど様々な支援を提供することに努めております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日朝のミーティングを行い、確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	支援の振り返りし、職員同士話し合い共有したり改善などを考え、対応しております。	全体共有の場を日々もっていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			より充実した内容の記録が取れるよう改善に努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			さらに協力関係を築き、密に情報共有をしていけるように努めていきたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			さらに協力関係を築き、密に情報共有をしていけるように努めていきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			さらに協力関係を築き、密に情報共有をしていけるように努めていきたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		9		保護者様や相談員を通じて情報共有しております。地域での研修に参加しております。研修参加の機会をさらに増やしていきたいと考えております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9		家族参加イベントを定期的に開催し、兄弟など障がいの有無に関係なく関わる機会を設けておりますが、今後も交流機会を増やせるよう検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		Yくまらず訪問看護と両サイドから必要に応じて支援しております。
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			必要に応じて相談に応じたり、面談させていただいております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		家族参加型のイベントを定期的に実施し、保護者交流の場は設けておりますが、さらに保護者交流の機会を検討していきたいと思います。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	*		会報はありませんが、HUGの活動記録や公式LINEなどで情報発信に努めております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			動物園を公開し、地域との関わりを持つ機会を作っております。イベントに招待するなどの計画も検討しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			各マニュアルはありますが、よりわかりやすいマニュアルに改善し、周知したいと考えております	体制を強化し、周知と実施をしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			子ども用防災リュック（利用者人数分）や備蓄など常備しており、定期的に避難訓練を実施しております。	体制を強化し、周知と実施をしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		保護者様とアレルギーについてのアセスメントをし、対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	7			体制を強化し、周知と実施をしていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			ヒヤリハットをしっかりと共有し、事故防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			内部外部研修に積極的に参加し、職員で共有しております。今後もしっかりと受け取っていきたいと思っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			契約時に説明をしております。また、個別での説明を加え、同意をいただき、計画書に記載しております。		